

〈北広島市教育委員会ニュース〉

To Be

— 市立学校、未来へ —



Vol.1

〈発行日〉 2022(令和4)年4月15日

より良い学校づくりの検討、はじめます

記録的な大雪に見舞われた北広島市内もようやく雪解けを迎え、新年度がスタートしました。

北広島市立小中学校も、4月6日に新小学生407名、新中学生514名を迎え、小学生2725名、中学生1538名でスタートしました。

北広島市立小中学校は、現在、二つの課題をかかえています。

一つは、学校の小規模化です。

小学生は昭和58年度の4803名をピークに、中学生は平成2年度の2588名をピークにそれぞれ減少しています。令和8年度には、小学生2220名、中学生1286名になると推計されています。

今後、児童生徒数の推移に注視するなかで、小規模化への対応について検討が必要です。

もう一つは、学校施設の老朽化です。

市立学校(棟別)の築年数は、平均38.8年、40棟のうち築40年以上の棟は23棟となっています。

今後、老朽化への対応について検討が

必要です。

これからの時代は、変化が大きく、予測困難な時代と言われています。

このため、学校教育では、子どもたち一人ひとりの個性を最大限に引き出し、「生きる力」を育むことが、ますます重要になっていきます。

市教育委員会では、今年度から、保護者や地域の皆さんと一緒に、この二つの課題を解決できるような、より良い教育環境(学校)づくりの検討をはじめます。



このニュースでは、検討の経過などをお知らせします。

タイトル「To Be」は、市立学校の未来を考えることから、「将来の」という意味の英語単語から名付けています。

【裏面に続きます】

《お知らせ》 教育講演会「きたひろしまのこれからの学校を考える」

これから目指すべき「きたひろしま」の学校とは。最新の国や他市等の動向から一緒に学びませんか。

〈内容〉 ※演題は仮題です。当日変更になる場合があります。

(1) 講演Ⅰ「令和の新しい学校を考える～人×デジタルでつくる well-being な学校～」

講師 新保 元康 氏 (ほっかいどう学推進フォーラム理事長

／文部科学省 GIGA スクールアドバイザー)

(2) 講演Ⅱ「大空学園義務教育学校の開校に向けて」

講師 帯広市教育委員会



〈日時〉 令和4年5月21日(土)13:30~15:30 (終了予定)

〈会場〉 北広島市芸術文化ホール ※同時にYouTube ライブ配信をおこないます。

〈申込〉 右記の URL 又は二次元バーコードから。(URL) <https://www.har.p.lg.jp/VKHNseKG>



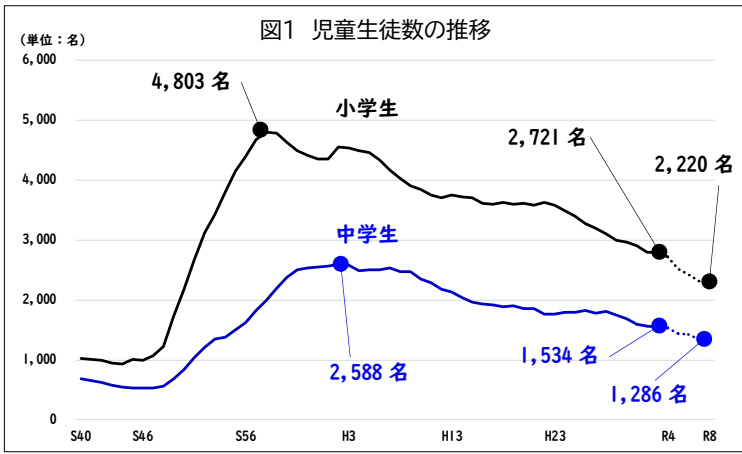
《《学校の小規模化》》

図1は、北広島市の小学生、中学生の推移です。

小学生は、昭和58年度の4803名をピークに減少しており、令和4年度は2725名となっています。

中学生は平成2年度の2588名をピークに減少しており、令和4年度は1534名となっています。

令和8年度には、小学生2220名、中学生1286名まで減少する見込みです(注1)



※令和4年度は4月1日、令和3年度以前は5月1日時点の実数値、令和5~8年度は「きたひろしまの教育(令和3年度版)」の推計(普通学級ベース)によります。

表1 令和4年度市立学校の普通学級の児童生徒数及び学級数

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
東部小	54	62	58	63	66	47	350
西部小	26	32	20	35	31	43	187
大曲小	80	79	70	72	76	78	455
西の里小	53	61	61	47	59	54	335
北の台小	38	55	52	64	65	56	330
大曲東小	60	72	68	78	85	79	442
双葉小	45	52	47	52	44	57	297
緑ヶ丘小	38	50	26	37	35	36	222
合計	394	463	402	448	461	450	2,618
参考(平均)	49.3	57.9	50.3	56	57.6	56.3	32.7

学校名	1年	2年	3年	合計
東部中	132	111	128	371
西部中	41	55	56	152
大曲中	174	154	169	497
西の里中	63	73	73	209
広葉中	61	42	51	154
緑陽中	36	33	43	112
合計	507	468	520	1,495
参考(平均)	84.5	78	86.7	24.9

※上段:児童生徒数
※下段:学級数
(いずれも4月1日現在)

表1は、令和4年度の市立学校の普通学級の児童生徒数及び学級数です。

小学生、中学生の減少にともない、今後、学年一学級の学校が増え、小規模化が進む見込みとなっています。

小規模化は、なぜ課題なのか。詳しくは、次号でみていきます。

(注1) 向陽学院内に設置された陽香分校は、施設の性格上、推計の対象外としています。

《《令和4年度の取組》》

より良い教育環境づくりの検討のため、令和4年度は、次のような取組を予定しています。

○保護者や地域への説明会(夏頃)

○市立学校適正配置等審議会
有識者、保護者、教職員等により全体的な観点で審議いただきます。

現在、公募委員を募集しています。詳細は、広報4月15日号をご覧ください。

会議は公開です。開催前に市ホームページでお知らせします。

○教育講演会(5月21日)

※詳細は前ページ。

○ニュース「To Be」、市ホームページによる情報発信(随時)

《《募集》》

市立学校適正配置等審議会委員

＜対象＞

市内にお住まいで小学校入学前のお子さんがある保護者の方・・・1名

＜申込＞

4月27日まで。右記二次元

コードからお申し込みください。



《《コラム1》》 小中一貫教育の導入

北広島市では、平成30年度に全市一斉に小中一貫教育を導入しました。小学生と中学生の合同授業や、中学校の先生が小学校で授業するなど、「中1ギャップ」の緩和を図り、目指す子ども像を共有するなど9年間を一貫した系統的な教育に取り組んでいます。



■双葉小と広葉中の合同体育

※このコラムでは、市教育委員会が取り組んだ、これまでのより良い教育環境づくりの取組を紹介していきます。

より良い教育環境づくりの取組について、ご意見等がありましたら左記担当までお寄せください。
なお、いただいたご意見につきましては、参考とさせていただきます。個別に回答等できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

《《お問合せ先》》

北広島市教育委員会 教育総務課

メール: edusounu@city.kitahiroshima.lg.jp